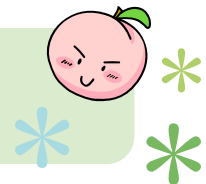


きよほうのお話（小）



みなさん、こんにちは。今日は「きよほう」のお話です。

ぶどうには、種があるものとなないもの、実が大きいものと小さいものなど様々な種類があります。その中でも、日本生まれの「きよほう」は、他の種類のぶどうと比べて実が大きくあまいことから、「ぶどうの王様」と言われ、日本で一番多く作られている種類です。

「きよほう」などの果物には、「ぶどう糖」といわれる糖分がたくさん含まれています。これは体の疲れをとってくれるはたらきがあるので、暑い夏のエネルギー補給にぴったりです。

今日の給食の「きよほう」は、春日井市桃山町の農園でとれたものです。「きよほう」は春日井市だけでなく、愛知県のいろいろなところでたくさん作られています。

ぶどうは種類や地域によって収穫の時期がちがひ、春日井市の「きよほう」は8月の終わりごろから9月の初めごろまでが一番おいしい時期です。

作ってくださった農家の方への感謝の気持ちをもって、味わって食べましょう。